

お釈迦様(その5)

お釈迦様の弟子について

悟りを開き仏陀となったお釈迦様は、亡くなるまで仏教の開祖として数多くの弟子に教えを説き続けました。仏教のはじまりがお釈迦様であることは間違いありませんが、仏教をさらに発展させたのは弟子と言っても過言ではありません。

お釈迦様には1000人以上の弟子がいたことが判明しています。その中の10人は「十大弟子」と呼ばれ、お釈迦様から絶大な信頼を寄せられていました。また、お釈迦様が亡くなった後は、弟子たちが中心となってお経をまとめ、仏教を広めたそうです。

お釈迦様の弟子でも特に優れていた十大弟子の中には、「二大弟子」と呼ばれる「舍利弗(しゃりほつ)」と「目連(もくれん)」の人物がいました。

舍利弗は「知恵第一」と言われるほど優れた弟子だったと伝えられています。元々はインドの思想家・サンジャヤの弟子でしたが、お釈迦様の弟子になってすぐに悟りを開きました。

目連は「神通第一」と言われた弟子です。「神通力」と呼ばれる能力でお釈迦様の説法の邪魔をする鬼神などを追いやり、餓鬼道に落ちた者を見つけて供養したりしていました。

二大弟子として仏教の発展に大きく貢献した舍利弗と目連は、お釈迦様の後継者と考えられていましたが、残念ながら2人ともお釈迦様よりも先に亡くなっています。



事に躊躇しておりました。

木工製の手すりは見た目よし触つてよし、靴を脱ぎ履きする用として

平らな部分もあり、機能的で雰囲気の良い手すりを設置しました。足元が不自由な方も、安心してご参拝ください。

住職レター

風が春から初夏の香りを運んでくるのを感じる季節です。心地よく、気分も良くなります。寺の周辺では、田植えの準備が始まりました。草刈りされたり、田んぼに水を張ったり、慌ただしさの中にも、のんびりとした、風情あるいつもの様子です。コロナ禍を忘れさせてくれる日常があります。

先月の話題 オンライン法事の件ですが、準備段階として、デバイス(情報端末・周辺機器)を揃えました。ノートパソコン、ウェブカメラ、お経を届けるためのマイク、いつもながら、まずは、取り揃えるところからのスタート。インターネット接続は、ちよつとハードルが高くなりますので、近々、余裕のある時に取り組むとしましょう。オンライン法事に関しては、また追って、報告をしますね。

さてこの度、本堂入り口の階段に、手すりを設置しました。もつと早くに設置しておくべきでしたが、遅くなりました事をお詫び致します。本堂階段所で集合写真を撮るためには、手すりがあると違和感あるな。アルミ製の手すりではなく、本堂に馴染む木工製の手すりが良いかと。実は屋外用の木工製の手すりが無かつたものですから、設置工